



1



3



2



日建連表彰2021



第62回BCS賞

1. 北側に面した公園から見る。
2. エントランス。右手は教員コーナー
3. ロフト教室。天井の近いテントのような空間

知立の寺子屋

選定理由

【選考委員】
伊香賀俊治・赤松佳珠子・尾崎勝

知立に本社を置き、世界的に事業展開する産業用ロボットメーカーFUIJが、旧東海道沿いの歴史的に大変重要な場所である敷地を買い取り、地域に貢献するための施設として企画したのが本プロジェクトである。企業の特徴である「ものづくり」と「グローバル」を生かした「科学実験を通して自然科学の知識を英語で教える学童保育施設」と「コミュニティカフェ」を併設する複合施設であり、教育カリキュラムやプログラム開発を含め、教員、カフェ店員など、すべて自社スタッフの直営で運営していることも特筆すべき点である。

知立地域の特徴の一つである社寺を踏襲した空間構成は、カフェや職員室を内包する低い平入りのゲート部分、「境内」に相当するホール、教

室群を内包する大きな平入り空間へと続く。おらかなホール部分は公園の大樹に対峙し、公園と一体化した、まさに境内のような豊かな安心感ある空間となっており、ヨガ教室や音楽会などパブリックスペースとしても活用され、カフェとともに子どもから高齢者まで地域の人々に愛され活用されている。

南西側には盤状集合住宅と立体駐車場が並ぶが、これらを西日除けとして扱いつつ、開口部を型板ガラスとし柔らかな光を取り込むなど、厳しい隣地条件を逆手に取り計画に生かしている点も見事である。また、床下チャンバー方式の居住域空調やオンドルの重力換気など、良好な温熱環境を確保している。

欧州アカマツ集成材の短材(L11一、五〇〇ミリ、t11一〇五ミリ)にスチールロッドを通し、市松状に編み込んだ屋根架構を、二つの並

ルにし、シアークネクターとしてスプリットリングを使ったり、サッシのマリオンを構造的にも効かせるなど、空間と力学の高度なバランスによる建築を、異業種間チーム全体での情報共有、確認、調整を繰り返し、極めて高い精度で実現させている。

行する鳥居状の棟木に、懸垂曲線に即してかけ渡すことで空間全体を覆っているが、敷地形状に沿わせる為に、二六九本の木材すべてが立体的に異なる形状となる。それらは、設計者の3D-CADフルモデリングの図面と、熟練の職人により在来の2Dで作成された全八、二一四面の施工図とを合わせて相互照合を行うなど、最新のテクノロジーと伝統的な手仕事との融合により、最大スパン二〇桁の美しい無柱空間をつくり出している。これらの木材接合を半剛とするため、横繋ぎのスチールロッドをダブ

先進技術に寄りながら社寺を思わせる伝統的建築の風合いを感じさせ、一方社寺のような伝統的建築が斬新な地域活動の拠点となっているなど、空間形態(高さ・広さ・近さ)と用途との適合性が見事に結実した素晴らしい建築である。

知立の寺子屋 概要

- 所在地 愛知県知立市西町西4
- 建築主 (株)FUIJ
- 設計者 (株)マウントフジアーキテックススタジオ一級建築士事務所、(株)藤澤淳構造設計事務所
- 施工者 小原建設(株)
- 竣工日 2016年7月15日
- 敷地面積 997.76㎡
- 建築面積 536.80㎡
- 延床面積 744.70㎡
- 階数 地上2階
- 構造 鉄骨造、一部木造



詳細や他の写真などは左記のQRコードからWebページにアクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2021 第62回BCS賞受賞作品》 有明体操競技場/大宮区役所・大宮図書館/軽井沢風越学園/The Okura Tokyo/大倉集古館/渋谷ストリーム/昭和電工(大分県立)武道スポーツセンター/大丸心斎橋店本館/高崎芸術劇場/知立の寺子屋/日本橋区三井タワー/日本橋スマートエネルギープロジェクト/東大阪市文化創造館/福田美術館/松原市民松原図書館「読書の森」/ミュージアムタワー京橋/ミライオン(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館)

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2021年で62回を数えました。